

奥池町 地区防災計画

防災意識向上編

芦屋市奥池町自治会

2022年（令和4年）3月版

目次

はじめに	2
・奥池町の防災目標		
第1章 知る	3
・奥池町の概要		
・奥池町の地域特性・地理的条件		
・奥池町で想定されている災害		
第2章 考える・話し合う	6
・家族防災会議を開こう		
・避難先、避難経路を決めよう		
・災害時に配慮が必要な方について		
第3章 行動する・備える	11
・平常時の取り組み①		
(奥池町自主防災会の強化と年1回以上の防災訓練)		
(個人ですること、できること)		
・平常時の取り組み②		
(ご近所と一緒にすること)		
第4章 つくる	14
・災害時の体制①		
(奥池町災害対策本部設置)		
(自治会各地区役員の役割と災害関連情報の流れ)		
・災害時の体制②		
(奥池町防災ネットワーク)		
参考資料	18
地区防災計画の配布にあたって	25

奥池町の防災目標

奥池町に住むわたしたちが災害に立ち向かうためにやるべきことを、防災目標として定めました。

- ・ 奥池町の災害特性を知り、ふだんから命を守る行動について考える・話し合う
- ・ 「ご近所の力」を高め、支援が必要な方への配慮を忘れず、行動する
- ・ 水や食料の備蓄は最低7日分。道路が途絶しても耐えられるよう備える
- ・ 孤立のリスクを考え、地域に住む人を結び、自助・共助の力を発揮できる仕組みをつくる

地区防災計画の対象となる災害

奥池町地区防災計画は、災害時にどのように対処するか初期対応の指針をまとめたものです。南海トラフ地震や台風・豪雨で起こり得る被害の想定と、災害発生直後における自治会、自主防災会や奥池町災害対策本部の役割・体制について示しています。



奥池町の概要とリスク

芦屋市の中心部から離れた六甲山の中腹に、私たちの住む奥池地区があります。すぐれた自然環境がもたらす日常生活の豊かさは、何ものにもかえがたいものです。しかし恩恵をもたらしてくれるこの自然が、災害時には防災面での不安要素になります。

奥池地区での生活は、土砂崩れなどの災害や道路インフラの途絶の恐れと隣り合わせです。市の中心と結ぶ道路は単線で、災害時に孤立するリスクは大きく、公的な救援・救助（公助）が迅速に届く保証はありません。

公助が遅れたとき、地域の人々の命と、私たちの町を守るのは私たち自身です。被害を最小限にとどめるためには、平常時からの準備、そして「いざ」というときに慌てないための、奥池の地域特性を踏まえた防災計画が必要です。

「公助」が届くまでの「自助」と「共助」、そして「事前準備」が奥池町地区防災計画のキーワードです。



奥池町の地域特性・地理的条件

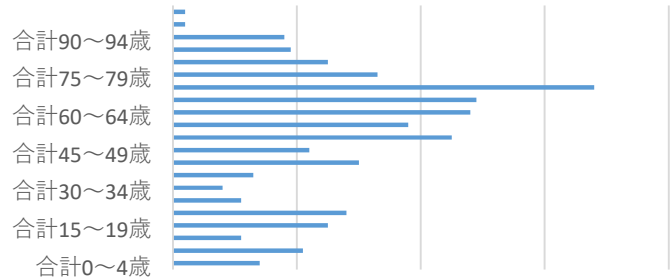
■自然特性

- ・瀬戸内海国立公園内の六甲山中腹・標高500メートルに所在
→冬季は積雪・道路凍結、多雨期は通行規制のリスク
- ・六甲山は世界的にも断層が多いことで知られる
→奥池地区から西に有名な五助橋断層が延びる
- ・土石流危険渓流、土砂災害（特別）警戒区域がある
→主に花崗岩の風化した土質で形成

※芦屋市 ハザードマップ参照

表1 奥池町に関する基礎情報
2022年1月1日現在 住民基本台帳人口と年齢別人口構成

世帯数	男	女	計
247	233	297	530



奥池町で想定されている災害

土砂災害情報の凡例

法 法(土砂災害防止法)に基づき、兵庫県によって指定されています。
山 兵庫県が地質や地形等から一定の基準以上の危険度であると判定した地区。法に基づかないので、指定された土地での開発行為も規制されません。

土石流

- 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)**
土石流によって住民等に危害が生じるおそれのある区域。
- 土石流危険渓流**
土石流発生の危険性があり、主に土砂災害警戒区域(土石流)の発生源となる渓流。
- 崩壊土砂流出危険区域**
山腹崩壊や地すべりによって発生した土砂が土石流となって流出し、災害が発生するおそれがある渓流。

急傾斜地の崩壊・山崩れ

- 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)**
急傾斜地の崩壊によって建築物に被害が生じ住民等に甚しい危害が生じるおそれのある区域。毎年の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
- 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)**
急傾斜地の崩壊によって住民等に危害が生じるおそれのある区域。
- 山腹崩壊危険区域**
山腹の崩壊や落石により、災害が発生するおそれがある山腹斜面。

注: 急傾斜地の崩壊とは、傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象。

地図情報の凡例

- 避難所**
災害が発生した時に、住居が被害を受け居住の場を失った人や避難指示などが発令された場合に、避難の必要がある人を収容する市指定の学校等の建物のことをいいます。
- 福祉避難所**
高齢者や障がいのある方など、一般の避難所生活において配慮を必要とする要配慮者が一時的に生活する避難所です。また、一般の避難所とは異なり、必要に応じて開設する2次的な避難所です。
- 地下道(アンダーパス)**
道路や鉄道などと立体交差して下を通る道路。市内には、大雨や洪水時に冠水の可能性のあるアンダーパスが8か所あります。
- ヘリコプター臨時離着陸場**
被害情報の収集や物資・人の搬送のために、臨時的に使用するヘリコプターの離着陸場です。
- 防災倉庫**
災害発生時や日常の訓練にも使用できるよう、市内42か所に設置されている倉庫です。初期消火用、救助用、避難用の資機材や小学校などの拠点避難所には食料などの備蓄品も一定数配備しています。
- 水位観測所**
河川の水位を観測しています。観測データは、国土交通省ホームページ「川の防災情報」から確認することができます。
- 河川警報装置(増水警報システム)**
河川の増水を警告する装置です。大雨・洪水注意報または警報の発表と連動して回転灯(黄色に点灯)が作動し、解除になるまで点灯します。回転灯が作動している間は河川敷に立ち入らないようにしましょう。
- 土石流サイレン**
土石流発生監視装置。土石流によってワイヤーが切断されると、サイレンが鳴って近くに住む住民に土石流の発生を知らせる仕組みとなっています。
- 屋外拡声子局スピーカー**
防災行政無線のスピーカー。毎日17時に「夕焼け小唄」の「試験放送」をしています。



家族防災会議を開こう

災害はいつ起こるか分かりません。家族が離れた場所にいるときでも、慌てず適切に行動できるよう、日頃から防災について、家族で「防災会議」を開き話し合っておきましょう。

- ・ 家族の安否確認する方法を確認しましょう。
- ・ 災害時持ち出し袋の中身を話し合いましょう。
- ・ 平常時から水を貯める習慣を身につけましょう。
- ・ 家具転倒防止の対策を行いましょう。
- ・ 火災の危険を感じたら、ブレーカーを切るよう心がけましょう。
- ・ 火災報知器、家庭内電気具等、家屋の安全点検を行いましょう。
- ・ 土砂災害や水害時、自宅2F以上への避難が有効であることを確認しましょう。
- ・ 積極的に防災訓練などに参加しましょう。



避難先、避難経路を決めよう

奥池地区の避難所

■避難所の場所

- ①奥池集会所（※）
- ②シスメックス・グローバルコミュニケーションセンター
- ③大阪ガス・奥池ロッジ

——の3カ所です。

※ 奥池集会所は土砂災害警戒区域(土石流)内にあるため、豪雨時などは利用できません。

■避難する際

- ①雨による土砂災害の場合はシスメックス
- ②地震などは奥池集会所

——と覚えてください。

※ 大阪ガス・奥池ロッジは、芦屋市が避難状況等から必要と判断した場合のみ開設されます。



避難先、避難経路を決めよう

■避難所の開設

【大雨や土砂災害の場合】

災害の状況や避難情報（警戒レベル）などによって芦屋市の判断で開設されます。危険が迫っていると判断した場合は、ちゅうちょなく指定避難所に避難してください。

気象情報などで不安な場合は以下の関係先へ電話で相談してください。

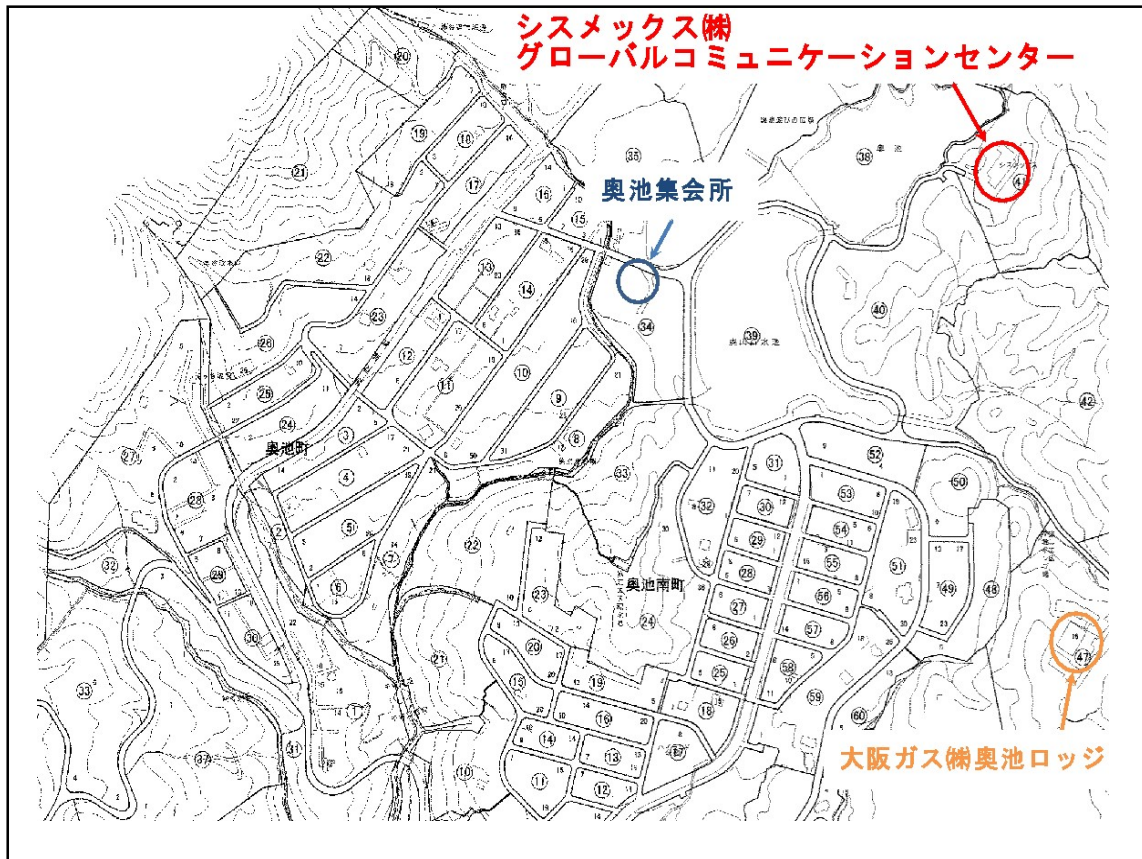
- | | |
|------------------------|--------------|
| ①芦屋市防災安全課 | 0797-38-2093 |
| ②奥池町自治会長・地区役員 | |
| ※役員改選後の自治会ニュース「おく池」に記載 | |
| ③各避難所 | |
| ・奥池集会所 | 0797-32-0763 |
| ・シスメックス | 0797-32-3690 |
| ・大阪ガス | 0797-38-0771 |

【地震の場合】

大雨などと違い地震は突然襲ってきます。地震時は、奥池集会所を緊急の避難場所として使用できるよう、自治会が解錠して対応します。さらに避難場所が必要な場合は、自治会が芦屋市や指定避難所の管理者に開設を要請します。



避難先、避難経路を決めよう



避難所を利用する際の注意点については巻末の参考資料をご覧ください。

警戒レベルと避難行動			
警戒レベル	状況	避難情報等	あなたがとるべき避難行動
警戒レベル 1	今後気象状況の悪化のおそれ	早期注意情報 <small>気象庁が発表</small>	災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル 2	気象状況の悪化	大雨注意報 <small>気象庁が発表</small>	自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 3	災害のおそれあり	高齢者等避難 <small>気象庁が発表</small>	危険な場所から高齢者等は避難
警戒レベル 4	災害のおそれ高い	避難指示 <small>気象庁が発表</small>	危険な場所から全員避難
——〈警戒レベル4までに必ず避難〉——			
警戒レベル 5	災害発生または切迫	緊急安全確保 <small>府県市が発令</small>	命の危険直ちに安全確保！

各種の情報は、警戒レベル1～5の順で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

災害時に配慮が必要な方について

地域コミュニティにおける平常時の様々な活動や近所づきあいで、これらの方々と接点を持ち、災害時における避難や支援等が必要かどうか、地域住民が知っておくことが重要となります。

■ 配慮が必要な方々と避難時の支援方法

高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人といった災害時に配慮が必要な人。

※災害時には、けがや体調不良等で誰もが要配慮者になる可能性があります。

要配慮者のうち自力での避難が困難で、特に支援を要する方々を避難行動要支援者と呼び、支援体制が必要です。



災害時要配慮者は、日常生活においても配慮を要しますが、災害発生時のようにライフラインの停止などが発生するとより生活が困難になります。

災害時に支援や救援が必要な人を発見した場合は、単独で行動せずに複数で対応しましょう。対応は無理をせず、専門家の救援を求めましょう。

平常時の取り組み①

奥池町自主防災会の強化と年1回以上の防災訓練

■ 平常時

- ・自治会を核に、自主防災会を充実強化します。
- ・隣接のハイランド自治会と連携し、年1～2回の防災訓練を開催します。

※緊急時は奥池町災害対策本部を設置し、平常時とは異なった体制となります。

個人ですること、できること

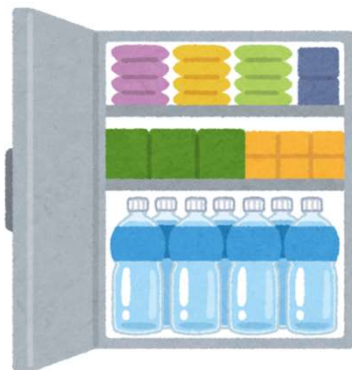
■ 自宅の安全対策

- ・建物点検・補強、家具固定、ハザードマップの確認等

■ ふだんの備え——**備蓄は7日分を**

《備蓄のポイント》

- ・備蓄するもの（飲料水・食料、生活用水、薬品・持病薬、簡易トイレ、電池や発電機等）
- ・電気の「備蓄」は明かりのほかスマホなどの充電用も必要
- ・持病薬の処方箋はスマホや携帯のカメラで撮影
- ・携帯トイレやリハビリパンツ等でトイレの代替
- ・非常持ち出し品の準備
- ・ペットのための備え



平常時の取り組み① (つづき)

■ 「在宅避難」を検討してみよう

防災インフラの少ない奥池町ですが、恵まれた側面もあります。ほとんどの世帯が自宅にとどまっただけの「在宅避難」が可能な低層の住宅である点です。

まず「防災情報マップ」(ハザードマップ)で、自宅の場所を確認しましょう。土砂災害警戒区域などのマークがない場所であれば、「在宅避難」について検討しましょう。

歩行に不安のある高齢者や幼児などの避難時の負担、避難経路の危険性、感染症への不安などを考えた場合、自宅は避難先の有力な選択肢となります。

在宅避難の場合も、水や食料・生活用品・持病薬などの備蓄、停電やトイレの対策などの準備が不可欠です。自宅内の安全な場所を確認しておくことも必要です。

■ レッドゾーンなどは迅速に避難する

自宅が土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)などにあれば、話はまったく違ってきます。急な崖などに接する区域に自宅がある場合、自治体の発する避難情報に従ってためらわず、迅速に避難しましょう。

五感で感じる異変も重要な情報です。

- ・ 崖から湧き水がある／亀裂が入る
- ・ 湧水の色が変わる／急に止まる
- ・ 地鳴りがする
- ・ 小石が落ちてくる
- ・ 異臭がする

などは土砂災害の兆候です。



平常時の取り組み②

ご近所と一緒にすること

■ 「ご近所」との防災コミュニケーションのポイント

- ・ご近所に自分の状況を発信し、自分の体調、不自由な点等を知ってもらいます。
- ・ご近所の状況を知り、気にかける、声をかけることなどをふだんの付き合いの中で実践しましょう。
- ・ご自分で動けるなら、指定避難所まで歩いて経路を確認してください。
- ・車いすユーザー等支援が必要なら、自治会、自主防災会、民生児童委員や福祉推進委員に相談してください。
- ・近所に外国の方がいれば、日本語が話せるかどうか、身近に会話を補助できる方がいるか確認しましょう。



災害時の体制①

奥池町災害対策本部設置

■奥池町災害対策本部の構成

本部長・・・災害対策本部の指揮・調整を行います。

副本部長・・・本部長を補佐し、芦屋市や警察・消防等との連絡調整を行います。

幹事・・・・状況に応じた救護、救援の要否や具体的方法を本部長に進言します。

福祉班・・・・避難行動要支援者等をサポートします。

情報班・・・・安否確認、被害や支援に関する情報を収集し、自治会全体の被害状況について把握し、整理します。

応援調整班・・・自治会各地区の応援の必要性を把握し、応援体制を構築します。

202X年 X月 X日現在

役割	所属団体・役職	氏名
本部長	自治会長	
副本部長	自治会副会長	
幹事	自主防災会メンバー	
福祉班	民生児童委員	
福祉班	福祉推進委員	
情報班	自治会役員・自主防災会メンバー	
情報班	自治会役員・自主防災会メンバー	
応援調整班	自治会役員・自主防災会メンバー	
応援調整班	自治会役員・自主防災会メンバー	

災害時の体制①（つづき）

■ 奥池町災害対策本部の役割

- ・被害状況を把握し、初動対応を実施します。芦屋市災害対策本部と協議し必要に応じて救助・救援を要請します。
- ・自治会内での救援（ひと、モノ、情報）を調整手配します。

■ 奥池町災害対策本部設置基準

- ・芦屋市で震度5以上を観測する地震が発生したとき
- ・奥池町内が広範囲にわたって風水害に見舞われたとき
- ・災害の種別を問わず、奥池町内で被害が発生し、拡大する恐れがあるとき
- ・その他、自治会・自主防災会で必要と判断したとき

■ 構成員

- ・自治会役員・協力員、自主防災会メンバー、民生児童委員、福祉推進委員

■ 連携先

- ・芦屋市消防本部奥池消防分遣所、芦有ドライブウェイ(株)、指定避難所施設管理者



災害時の体制①（つづき）

自治会各地区役員の役割と災害関連情報の流れ

■ 各地区での情報収集と奥池町災害対策本部への連絡

- ・被災状況に関する情報（家屋損壊、火災、負傷、道路損壊など）を奥池町災害対策本部へ情報提供します。
- ・地区内で安否確認を呼びかけ、その情報（安否確認の完了の有無、不明世帯数）を奥池町災害対策本部へ連絡します。
- ・支援・救援の要否（初期消火、人命救助、災害時要配慮者への支援、その他）を奥池町災害対策本部へ要請します。
- ・希望避難先に関する情報（市指定避難所受入希望者数など）を集約し奥池町災害対策本部へ連絡します。

■ 奥池町災害対策本部から各地区への情報

- ・町全体の被害情報や指定避難所の状況、応急物資・支援物資、防災資機材の情報、芦屋市からの情報を各地区へ周知します。
- ・芦屋市や兵庫県等の行政機関、警察、消防等の救助・救援情報を各地区へ周知します。
- ・応援や避難支援等を各地区へ要請します。



災害時の体制②

奥池町防災ネットワーク

災害対策本部

消防分遣所

- ・行政との連絡、情報共有などについて今後取り決め

芦有ドライブウェイ（株）

- ・道路情報、町内道路の応急措置、避難路確保などについて今後取り決め

奥池町防災情報ネットワーク（仮）

- ・LINEなど簡便なSNSでネットワークづくり
- ・日常は自治会のお知らせや通行規制などの情報
- ・非常時は災害発生や避難（所）情報、食料・水供給、ライフライン情報、救助情報

医療者ネットワーク（仮）の構築

- ・奥池町在住の医療関係者（医師、看護師等）の電話・メール登録
- ・道路途絶時、応急処置などのマンパワー確保

避難先等登録システムの構築

- ・避難した場合の連絡先などを音声かメールで登録する仕組みづくり

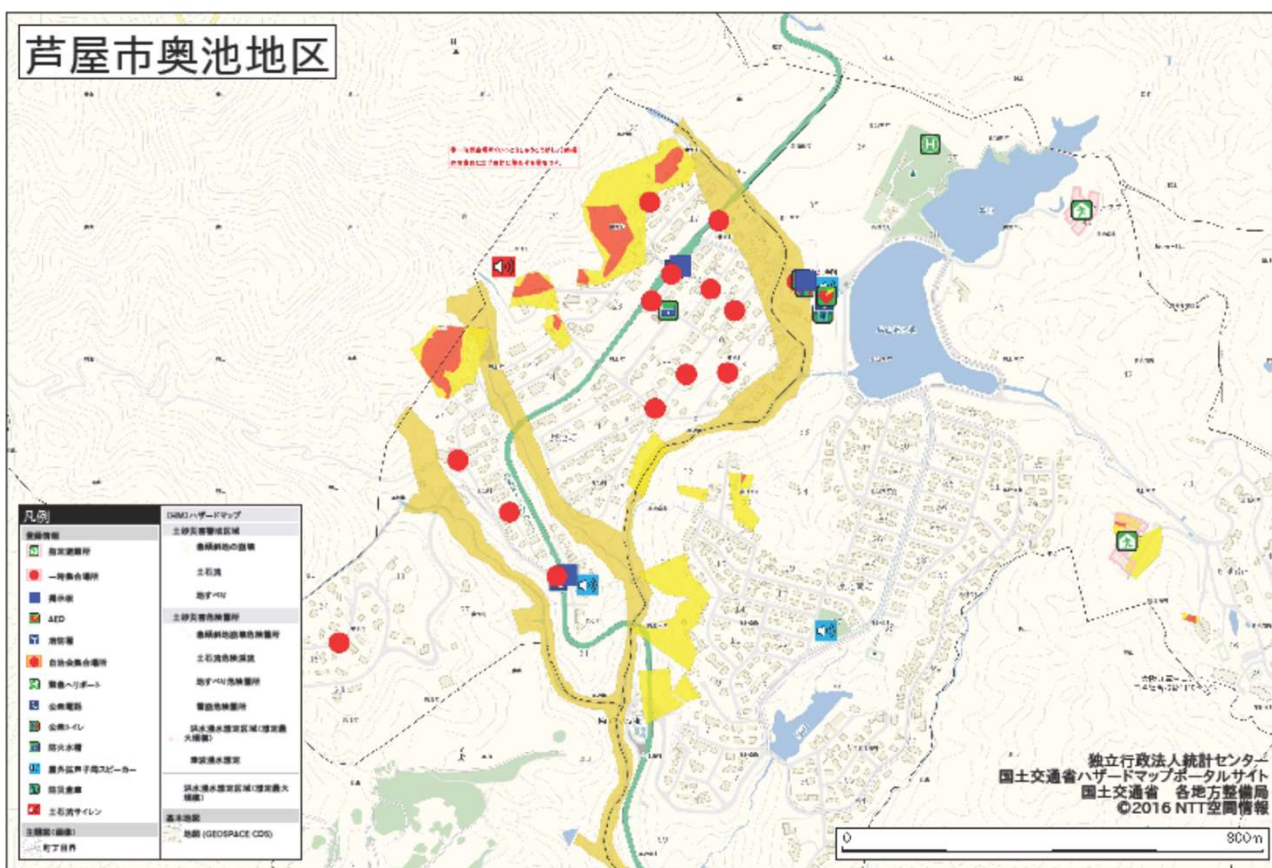
芦屋ハイランド自治会との連携

2022年度以降順次整備予定



奥池町 防災マップ

2021年8月7日、奥池集会所でDIG (Disaster Imagination Game) 訓練を実施した際の委員メンバーで作成した防災マップです。



災害関連連絡先一覧

災害時の連絡先	電話番号（芦屋市内は0797省略）	備考
【芦屋市関係】		
芦屋市（代表）	31-2121	
芦屋市防災安全課	38-2093	
芦屋市災害時専用電話	38-2099	災害時のみ開設
防災無線	0180-99-7787	防災無線の内容を自動応答
【医療関係】		
芦屋市立芦屋病院	31-2156	
芦屋市立休日応急診療所	21-2782	
芦屋保健所	32-0707	
【警察】（110番以外）		
芦屋警察署	23-0110	
【消防】（119番以外）		
芦屋市消防本部	32-2345	
奥池消防分遣所	34-0119	
【自治会関係】		
奥池町災害対策本部	32-0763	災害時、奥池集会所に設置
奥池集会所	32-0763	通常は月曜日休み
自治会長	役員改選後の自治会ニュース「おく池」に記載	
地区役員		
【指定避難所など】		
奥池集会所	32-0763	
シスメックス・グローバルコミュニケーションセンター	32-3690	
大阪ガス・奥池ロッジ	38-0771	
芦屋市民センター	31-4995	県道など通行規制時の仮眠施設
【ライフライン】		
芦屋市上下水道部お客様センター	38-2082	
関西電力	0800-777-3081	関西電力送配電（株）
	06-7506-9594	
大阪ガス・ガス漏れ専用	0120-7-19424	
【道路・交通機関】		
芦有ドライブウェイ（株）	38-0001	
芦有ドライブウェイ・道路情報	0120-38-0082	
芦屋市道路・公園課	38-2062	
兵庫県西宮土木事務所	0798-39-6136	
阪急バス	31-1121	芦屋浜営業所

奥池地区防災倉庫

防災資機材用途表

11

平成10年度設置
〈消防奥池分遣所〉

令和3年11月22日
奥池南町34番5号

	品名	数量	用途
初期消火用資機材	可搬式動力ポンプ	1	池や川の水を吸水し、放水する。燃料50:1 3.5ℓ
	吸水管一式	1	可搬式動力ポンプに接続し、使用する。
	ホース	5	動力ポンプ又はスタンドパイプに接続し延長する。
	組立簡易水槽(消火用)	1	防火用水を貯水する。吸管支持スタンド付。
	スタンドパイプ	1	消火栓口に接続し、吸管又はホースに接続する。
	キーハンドル	1	消火栓キーを開閉する。
	媒介金具 65⇒50・50⇒65	各1	ホースを動力ポンプ又はスタンドパイプへの接続時に使用する。
	管そう	1	ホースの先端に接続、放水する。
	消火器	1	蓄圧式 ハツタPP-10C
	ヘルメット	20	活動時、頭部を保護する。
救助用資機材	ハンドマイク	3	警報、広報時に使用。電子サイレン付。
	ガスパワー発電機	1	エネポ 定格出力900VA 最大2.2時間
	ガスポンベ	18	
	ガスパワー発電機用エンジンオイル	1	ホンダ 4サイクルオイル
	投光器	1	発電機に接続 500W
	投光器用三脚	1	投光器とセット
	コードリール	1	延長コード 30m
	可搬式ウィンチ(チルホール)	1	重量物にワイヤーを掛け、移動させる。横引き2.5 ^ト 、縦引き1.6 ^ト
	救命ロープ	2	1巻 200m
	スコップ	10	
	ツルハシ	10	
	ジャッキ	10	重量物のジャッキアップ 800kg
	二連梯子	1	全長4.43m・縮長2.85m・重量11.5kg
	パール	20	
	のこぎり	10	
	おの	10	
	大ハンマー	10	
	ボルトクリッパー	5	切断径10mm
	ペンチ	10	切断能力3.5mm
	災害救助工具セット	1	6点の道具が収納されています。
担架	2	負傷者の搬送に使用します。	
簡易担架(スマートムーバ)	3	負傷者等の搬送に使用します。	
手袋	10	活動時、手部を保護する。滑り止め付	
救護用資機材	防塵マスク(20枚入り)	4	使い捨て。
	防水シート	3	寸法 3.6m×3.6m
	水中ポンプ	1	吐出口径50mm 20mホース 吐出量120ℓ/分
	簡易ベット	5	
	救急医療セット	3	約20人用、外傷用 平成27年度に更新
	簡易トイレ	5	簡易トイレスベア袋40含む
	テント(三方幕付)	1	鉄骨フレーム 3.6m×5.4m
	毛布	10	アルミ圧縮パック
	炊飯装置(BOX付)	1	LPGガス(10K用)及び蒔用 釜入り水量55ℓ(30升)
	釜(かまど付 7升)	3	薪用 釜入り水量12.6ℓ(7升)
	飲料用水槽(組立式)	1	飲料水の貯水 1 ^ト
	折りたたみ式給水容器	1	容量10ℓ 10枚セット
	食器5点セット	30	キャンピング食器5点セット
	リヤカー(折りたたみ式)	2	折りたたみ式 ノーパンクタイヤ
	ラジオ	2	手回し充電機能
非常用ローソク	3	12時間使用可 マッチ・コップ付	

奥池地区防災倉庫

一覽表に依る											
応急物資備蓄内容一覽表											
《消防奥池分遣所》 防災倉庫		備 考	点検日			合 計	賞味期限				
			2021/9/15								
食料・飲料水	食料	アルファ化米	5種混合	50袋	×	6箱	=	300	2025/8/31		
		ビスコ		60袋	×	5箱	=	300	2023/3/31		
		7年保存パン		50袋	×	6箱	=	300	2028/3/31		
	飲料水	飲料水(本)	500ml	24本	×	13箱	=	312	2027/5/31		
生活用品等	生活用品等	毛 布	旧	10枚	×	13箱	=	130			
		毛 布	新	10枚	×		=	0			
		ダンボールベッド	暖々ベッド					0			
		ダンボールベッド	素々ベッ					0			
衛生用品等	大人用オムツ	サイズ		枚 数					使用期限		
		M(20枚入り)	20枚	×	2ﾊﾞｯｸ	×	=	120	2箱		
		L(17枚入り)	17枚	×	2ﾊﾞｯｸ	×	=	130	3箱		
	テ ー プ	乳幼児用オムツ	新生児用 (90枚入り)	90枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
			S(82枚入り)	82枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
			M(76枚入り)	76枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
	ﾊﾞﾝﾂ	乳幼児用オムツ	M(74枚入り)	74枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
			L(56枚入り)	56枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
			ビッグ(50枚入り)	50枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
	旧	おしりふき	64枚	3ﾊﾞｯｸ	×	12個	×	=	0	0箱	
		生理用品			×		×	=			
		尿取りパッド	30枚	30枚	×	8ﾊﾞｯｸ	×	=	0	0箱	
	新	おしりふき	64枚	3ﾊﾞｯｸ	×	12個	×	1箱	=	2,304	2026/1/25
		生理用品	11枚	2ﾊﾞｯｸ	×	12個	×	1箱	=	264	2026/1/25
		尿取りパッド	24枚	24枚	×	8ﾊﾞｯｸ	×	1箱	=	192	2026/1/25
10年保存衛生用品等	大人用おむつ(テープ兼用) 【同一梱包】 テープ式にもなるﾊﾞﾝﾂ	S		×		×	=	0			
		M-L	14枚	×	2ﾊﾞｯｸ	×	1箱	=	28	2031/1/26	
		L-LL	12枚	×	2ﾊﾞｯｸ	×		=	24	2031/1/26	
	乳幼児用おむつ(テープ) 【同一梱包】	新生児用	90枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×		=	90	2031/1/26	
		S	82枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×	1箱	=	82	2031/1/26	
		M	76枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×		=	76	2031/1/26	
	乳幼児用おむつ(ﾊﾞﾝﾂ) 【同一梱包】	M	74枚	×		×		=	0	—	
L		56枚	×	2ﾊﾞｯｸ	×	1箱	=	112	2031/1/26		
ビッグ		50枚	×	1ﾊﾞｯｸ	×		=	50	2031/1/26		
	生理用品										
トイレ	サニタクリーン	本体									
		袋									
	お花摘み広場	本体						0			
袋							0				
	ガソリン缶		1L×18缶/箱	×		=	0				

※新おしりふき・生理用品・尿取りパッドは納品日から5年を使用期限とする

避難所を利用する際の注意点

(1) 避難経路や車での避難について

- ふだんから自宅～避難所の避難経路を決めておいてください。

※豪雨や地震によるがけ崩れや道路陥没なども想定されるので、複数のルートを検討してください。

- 高齢者や自力避難ができない方がいる場合や、風雨が強かったり避難所が遠かったりする場合は車をお使いください。

※車による避難は本来、避けるべきですが、山あいの奥池地区は市街地と状況が異なり、車での避難も可能とします。ただし、駐車スペースが用意できない場合もありますので避難所の管理・運営者（市職員や自治会役員等）の指示に従ってください。

- 自力避難が難しく、車をお持ちでない方は、ふだんから近所の方や地区役員、民生児童委員、福祉推進委員に相談し避難方法を決めてください。

- 避難所で準備されているのは、毛布と食料(保存ソフトパン、ビスコ、アルファ化米のおかゆ、水など)です。ただし、配られる食料はご自身が備蓄されている食品の補助とお考えください。必要な場合は簡易ベッドの準備もあります。

※簡易ベッドは数に限りがあります。初期段階では傷病者、高齢者等要配慮者が優先です。不足分は協定先や国・県の支援により供給します。

- ペットは必ずケージ等に入れ、置き場所は避難所管理・運営者に相談してください。

避難のヒント

- ・自治会が避難所見学会を実施することがあります。その機会に避難所の場所や内部の状況について見学されることをお勧めします。
- ・シスメックス・グローバルコミュニケーションセンター、大阪 ガス・奥池ロッジは芦屋市が災害時に民間から借り受ける施設です。節度を持って利用しましょう。
- ・忘れがちなもの＝持病薬、処方箋（スマホなどのカメラで記録）、携帯電話の電源など。
- ・トイレが近い方は大人用のリハビリパンツの用意があれば安心です。

避難所を利用する際の注意点

(2) 感染症まん延時について

【避難の前に検討・準備すべきこと】

●感染が不安な場合は、自宅にとどまる「在宅避難」や親せき・知人宅での避難、ホテルなどの施設避難などの方法があります。自宅が堅牢で安全な区域にある場合は、在宅避難の可能性を検討してください。あくまで感染リスクとの比較ですので、身の危険が迫っている場合は避難所への避難をためらわないでください。

●避難所など自宅以外への避難の場合は、感染対策グッズを持参しなければなりません。非常持ち出し品などと同様にふだんからの準備が必須です。

※感染対策グッズの例＝マスク（多めに準備）、体温計、アルコール消毒液、消毒用ウエットティッシュ、上履き・スリッパ、手洗い用せっけん、ビニール袋（多めに準備し、ごみ捨て用などなどに）、防寒着（冬場も避難所が換気されているため）

●以下のように避難所入り口（受付時）に示された感染対策に必ず従ってください。

【感染の疑いがない場合】

- ①入館前に手指消毒、検温、健康チェック（チェック表などで判定）
- ②体調不良などがなければ、受付で「避難者カード」に記入
- ③靴は持参の袋に入れ、上履きかスリッパで入室
- ④グループ（家族）単位で他の避難者と間隔を保つよう設定されたスペースへ
- ⑤マスク着用、手指消毒、手洗い・うがいなど自分でできる感染対策を徹底

避難所を利用する際の注意点

【感染や濃厚接触の恐れがある場合】

災害時に、体調異状があったり近親者などの感染が分かっていたりする場合は、事前に芦屋市防災安全課や保健所、自治会などに連絡し、避難先などについて相談してください。

災害によって身に危険が迫っている場合は、避難所への避難をためらわないでください。

- ①避難所では入館前に手指消毒、検温、健康チェック
(チェック表などで判定)
- ②体調不良や近親者の感染疑いなどがあれば、一般とは別に確保された動線で、健康観察者のために用意された受付で避難者カードに記入
- ③靴は持参の袋に入れ、上履きかスリッパで専用スペースへ移動
- ④避難所内では動線やトイレ、手洗い場所などが一般の避難者と交わらないよう設定されており、他の区画に入らないなどの感染対策を厳守
- ⑤体調異常・急変などがあれば、即座に避難所管理・運営者に申し出る



地区防災計画の配布にあたって

日本列島は災害の時代に入ったといわれます。地殻変動が活発化し、大規模地震の発生が盛んに論じられるようになりました。マグニチュード8～9クラスとされる南海トラフ地震に関する政府の被害想定では、最悪の場合、犠牲者32万人余り、全壊家屋約67万棟と予想されています。また近年は気候変動による影響からか豪雨災害が激甚化し、毎年のように多くの命が奪われています。

災害による被害は他人ごとではありません。1995年1月17日早朝、阪神・淡路大震災に遭遇し、想像を絶する惨状に立ちすくんだ記憶を持つ方も多いと思います。2011年3月11日には東日本大震災が起き、沿岸各地を津波が襲いました。地震や津波の直接の犠牲者は1万8千人を超えています。自然の脅威になすすべもなく破壊された町々の光景を、生きているうちに再び目にすると、思いもよらないことでした。

私たちは災害の前で、無力に立ちすくむしかないのでしょうか。災害そのものを止めることは、もちろんできません。しかし、少しでも被害を減らし、一人でも多くの人を助かるための努力はできるはずです。

奥池町自治会は内閣府の制度を利用して2020年末から、奥池町の特性や実状に合わせた「地区防災計画」づくりに取り組んできました。この町を、少しでも災害に強い町にしたい、そして防災・減災に向かって一歩踏み出したいとの思いで議論を続けました。

奥池町地区防災計画は、「知る」「考える」「話し合う」「行動する」「備える」「つくる」の6つの動詞をキーワードに構成されています。奥池町に住む方々が、災害を自分のこととしてとらえ、自ら動くことを、これら6つの動詞に託し作成しました。

防災・減災に取り組むことは私たちの生活の延長であり、決して難しいことではありません。まずはこの防災計画書を手に取って、ページをめくってください。

芦屋市奥池町自治会 地区防災計画検討委員長
大西 信治

奥池町地区防災計画検討委員会

(2022年3月末現在)

委員長	大西 信治	(自治会長 D2地区役員)
副委員長	齊山 美津子	(自治会副会長 C1地区役員)
同	山下 行理	(同 E地区役員)
委員	井上 美津代	(自治会役員 A1地区)
同	澄川 竜夫	(同 A2地区)
同	長井 謙之	(同 A2地区)
同	富田 あすか	(同 B1地区)
同	黒木 千文	(同 B2地区)
同	奥田 幸子	(同 C2地区)
同	黒田 久子	(同 D1地区)
同	柏井 宏太郎	(同 E地区)
同	石鎚 貴志	(自治会顧問)
同	山脇 健太郎	(自治会協力員)
同	小野 りか	(民生児童委員)
同	田中 みずほ	(福祉推進委員)
同	宮永 和佳子	(同)
アドバイザー	大槻 由美	NPO法人 とれじゃーBOX
	原 貴代	同
事務局	坊農 豊彦	一般財団法人 関西情報センター

(2022年3月版)

奥池町地区防災計画

